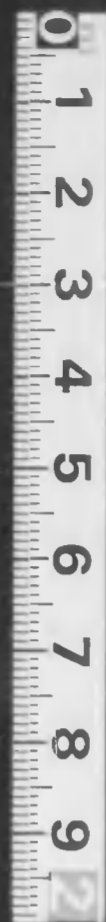


週寫  
報眞

情報局編輯

第六百七十四號 六月二日





畏くも  
 皇后陛下には決戦下の民草に  
 深き御慈しみを垂れさせられ  
 親しく戦時下に於ける國民總努力の  
 真相を御視察あらせ給ふ  
 街に職場に つぶさに御目をそ、が  
 せ給ふ至仁至慈の御徳の辱けなさ  
 今日 戦ひはまさに決戦の時にあり  
 銃後婦人の挺身活躍に俟つもの多し  
 惠澤彌が上に浴きこの光榮に  
 誓つて國民皆働の實を上げ  
 御懿徳に應へ奉らう

**皇后陛下 帝都  
 四箇所に行啓  
 決戦下銃後女性  
 敢闘の姿を親し  
 く御覽遊ばさる**

畏くも 皇后陛下には五月十九日、  
 東京市特別衛生地区保健館、財団法人  
 東京府授産協會豊島授産場、東京第一  
 陸軍造兵廠、凸版印刷株式会社板橋工  
 場の四箇所へ行啓あらせられました  
 この度の御巡視は、決戦下必勝の意  
 氣に燃えて日夜孜々として増産に精進  
 する産業戦士、勤勞奉仕に敢闘する報  
 國隊の活動状況、防空に挺身する隣組  
 防空群の訓練や、育児、保健、授産施設  
 等に活動する銃後女性の眞の姿を御視  
 察、御激勵の御趣旨と洩れ承ります。尊  
 き御姿を咫尺の間に拜しました人々は  
 もとより、それに續く一億の民草たる  
 われら、この有難き思召に恐懼感激、  
 なほ一層御奉公をお誓ひ申し上げます  
 なりません

皇后陛下豊島授産場に行啓

講官 宮内省





御覧は二十日相良町婦人の海産採取を御覧遊ばされる秩父宮妃殿下

畏くも秩父宮妃殿下の御覧遊ばされた静岡縣下の婦人たちは有難い恩恵に感激してありますが、本誌は宮妃殿下御覧遊ばされた各地の中から、漁村の代表として御前崎村を、農村の代表として櫻木村を選び、兩村婦人日頃の敢闘ぶりをあるがまゝに記録してみました。

この村の婦人たちが、漁をする以外の何もかも仕事を女子一つに引受けてやりとけてきたのは、もうすでに何十年來のことです。七百戸の全村あけての純漁村であつて、働き盛りの男は揃つて近海或ひは遠洋へ、日の丸押し立てて漁にゆく。村に残つてゐるのは女と子供と年寄しかない。育児、家事は勿論のこと、漁具の整備、魚の運搬、品仕事その他一切の陸の仕事は女でやつてもらひたい、といはれる前に、女の方で一切合財ひきうけたのでした。男はたから安心して、命を的の漁に出かけてゆけるのでした。

「戦争は漁船の数を減らしました。しかし、漁船を下りた若い男は、今度は軍艦に乗り、輸送船に乗組んで戦場へ征きました。私たちは笑つて男子を送りました。ヤンキー共をやつつけて下さい、私には心配しないで、私には昔から鍛へてきた働く腕があります、意氣があります」

# 秩父宮妃殿下御視察の光榮に奮ひ立つ女性たち

静岡縣御前崎村

濃に上つた霧、船等は大海のときは何千貫といふ大山を築く、これを運ぶのは皆、女の仕事です。今日は晴化氣味で、船は夜になつてやつと歸つてきたのでした。

働く女への訓練は早くも國民學校から行はれます。漁船と取り交すべき手旗訓練は、今日も女子青年團員の指導ではじめられました。



「全国でも珍らしい女ばかりの警防團が、もう既に十年來、村をがっちりと護つてゐます。消防、救護、防空、いづれも男にまさる働きぶりです。必要事項の傳達、必需物資の配給、貯蓄等、農組が普通うけもつ仕事のほかに、こゝでは各農組で納税組合を作り、日給委員が集金を引受けてゐます」



# 秩父宮妃殿下 御視察の光栄に奮立つる女性たち

村木櫻縣岡靜



「今年こそ苦勞さん、精が出ますね。村長さんは娘たちに挨拶しました。村の娘は、地元の茶摘み隊中です。この村でも百町歩の茶畑が、年六十万坪を年々出さうです。」とのどっこい、女の方の活動ぶりを見て載せませんか。は、「別に自慢する程のものは何もありませんが、それは只今承つておきますよ、をこぼれにいらせうか」と氣さく、自転車で跨ると、初夏の野道を走り出しました。あちらの田圃、こちらの茶畑から寄せられる村人の挨拶に「やあ、ご苦勞さん」と返禮を笑顔と一緒につけ返しながら、村長さんは村の婦人たちの健氣な働き方をボツ／＼次ぎのやうに話りました。

「一期工事に成功した乾拓工事です。この村の田地四百五十町歩のうち、百五十町歩は灌漑の地下水のためひどい濕田で、收穫が昔から少いのです。一粒でも多く種にやらないと、この際です、増産のために、村では思ひ切つて濕田の乾拓を志したので、人手の無い折、村としては大事業です。ところが、この大事業を喜んで引受けてくれたのは村の女子青年でした。村長として嬉しかつたですね。この二月から鎌を振り、

「一尋高下は元々比較的恵まれたところたもので、から、男子の十分あつた頃は、この邊の女も今ほどには働かなくなりました。働く必要もなかつたわけです。しかし今は違ひます。草も飯も一生懸命です。名物の茶摘みは勿論のこと、共同炊事も、共同保育も、野良仕事も、加工作業も、婦人たちがしつかり引受けてゐて

杵を打ちこんで、懸命に働いてくれた女子青年を中心とする婦人たちの努力はつひに報いられて、七十町歩に暗渠を構築する第一期乾拓工事は最近見事に完成したのです。この心意氣に私は、將來若い男子を一人残らずみ國に捧げても、むしろ年寄と女子だけで田も品も立派に守つてゆけると確信しました。」



「女の手での子供もこの一、二年來めつきりふえたりです。どうです、一綱きはきも中々です。」



「第一期工事は、部早もはじめられてゐる。身付度中更さしく、今日出動した女子も、仕事終つて、お茶を飲んでいます。」





寄宿舍は四畳半に三人位の雑居、舎舎の下に長長、あつて全く規則正しい日常が送られる。着脱、和装、華装その他女のたしなみには十分配慮が施されている。



寄宿舍の中庭に設けられた清潔な洗濯場、楽しいお手傳ひをしながら、的禁さんは時局下の工場といふものをほつき私にも結婚前の娘一人あります。これなら安心して送り出せると思はますと語った。

# お母さんたちよ

## 安心して娘さんを職場へお送り下さい

勝ち抜くために女子の戦力が勤務戦線に受持つ役割の重要さは、いまさら説くまでもない。イギリスでは、既に女子の防空隊員が戦艦もいかめしく訓練し、しかも、本上防衛にあつてゐる。また、最近アメリカの海軍統帥部では、新規に五十万の婦人補助隊員の増加を要求してゐるといはれる。敵艦、いや、敵は女子に軍務に就くことまでも望んでゐるのである。決戦のいま、『有命令嬢』の名がまだ最後に残つてゐることを、母も、娘も、さらに日本の女性全部が連帯の責任で深く反省し、慚愧する所だと思ふ。

今日は東京市杉並區の的禁さんと一緒に鎌倉航空工業株式會社を訪れ、女性の職場を十分見學しよう。母たより、職場に對するこれまじのやうな姑息な考へを捨て、息子を戦地に送る時の立派な態度、あの態度で娘たちも職場へ、女の職場へ送り出さうではないか。

撮影 飛田昌哉



陸軍系下部隊がバレンパンにたてた機動の陰には、夜を日について製作にあつた乙女たちの努力があつた。感謝状をかこんで。



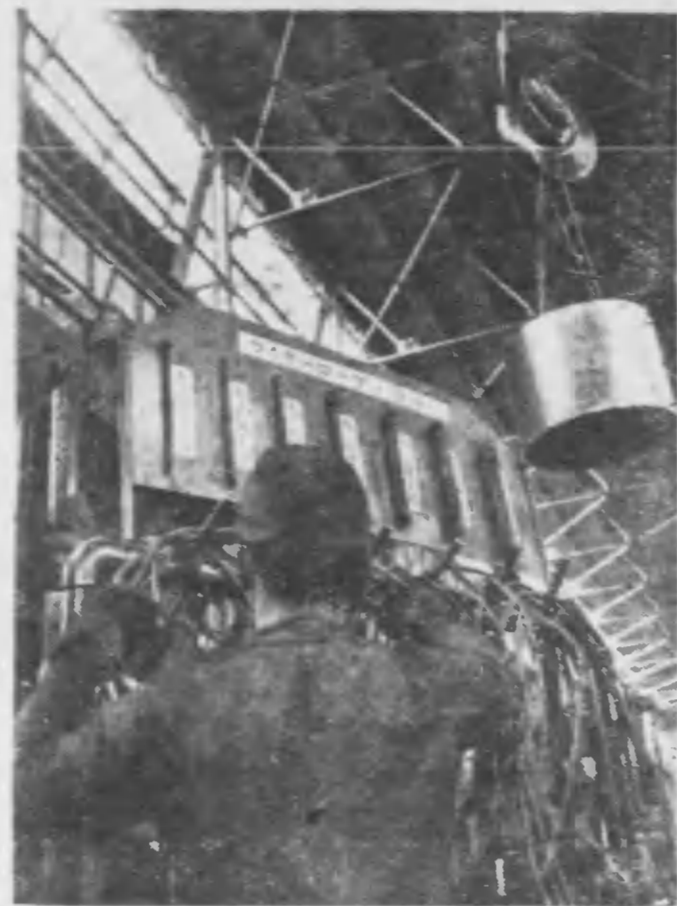
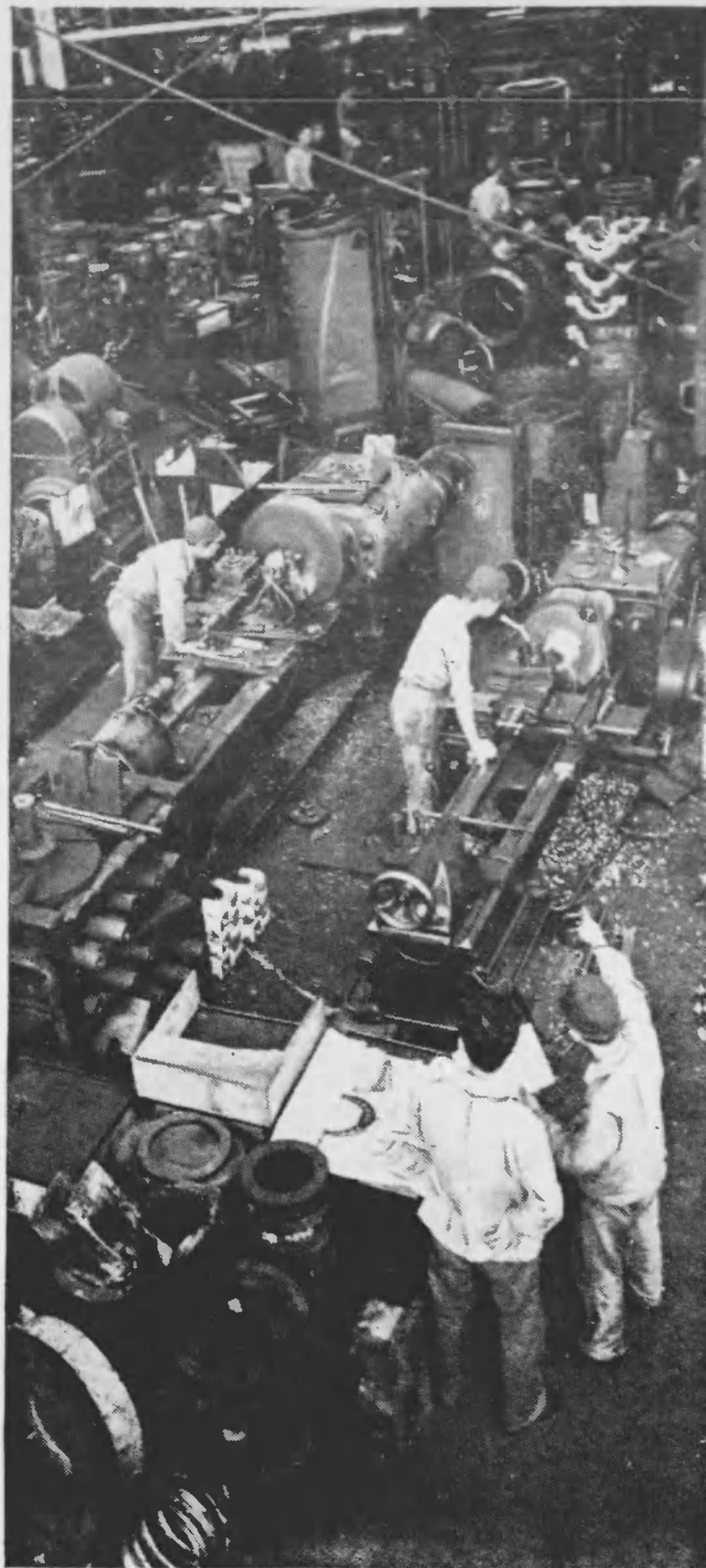
「今日はわたしがお母さん教育、兵隊さんのご苦勞を想へば、決してつらいと思ふことはありません。座談會では率直な發言が的禁さんの胸を打つ



「いよ／＼検査が終れば、あとは大空にパフと咲く日を待つだけ。的禁さんも何かしらカフとする」

日本の男子は戦火で鍛へられ、どし／＼古い殻を破つてゐる。女性よ、職場に飛び込め。そして、そこで熱火の増進と逞しい勤務で磨かれ、戦ふ日本女性の美しさと資格をしっかりと磨き上げてゆかうではないか。職場は職場に通じてゐる。





労働者はこの困難の中に、然  
 練してゐないが、女子、轉業、  
 雇用等の新人工員のために、  
 積極的な安全作業の指導と職  
 場の整頓増進を目標として、安全  
 生手推進隊を組織して、防  
 安施設の整備から故障し等の  
 異常時対応を行ひ、決戦下、  
 工場事故の抑止を図つてゐる



労働者は因は借金家庭の、ささく多い、丁度安全な仕事場を  
 と工場内の人事相談所が工員の悩みを解決して職場のなごみへ

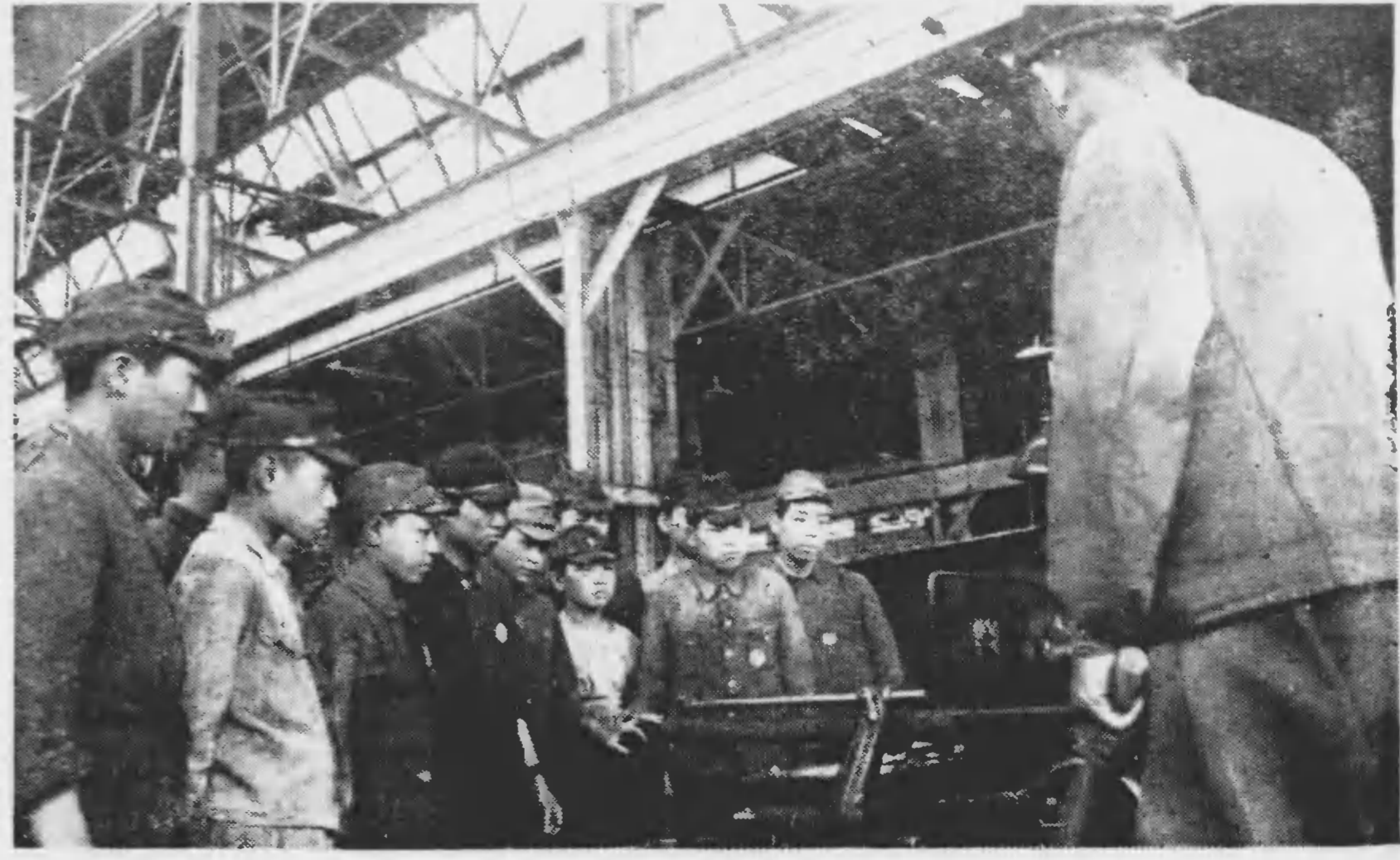


労働者は、健康にして強々振舞の業にいそしむことを  
 を全員の朗誦は朝の職場に響き渡る

# 必勝の生産へ まづ鉄壁の安全

決戦の今年、戦力増強を印  
 するものは敵と同じだ。生産陣  
 営において、自分一人のちよ  
 うとした不注意から、他の工  
 員に迷惑をかけたたり、事故を  
 起して、大切な生産を止める  
 ようなことが少くともあつて  
 は、生産戦の敗北となる。こ  
 こに「戦力増強安全強調週間」  
 が六月一日から一週間全国に  
 行はれる意義がある

地味、工員の整頓、職場の  
 整頓があつてこそ、必勝の生  
 産が行はれる。キチンと整頓  
 した職場の中で正しい姿勢を  
 とつて作業すること、これが  
 必勝生産の第一歩である。更  
 には萬一の空襲時に起り勝ち  
 な災害を防ぎ、一機でも一袋  
 の損失をもくもく前線へ送らぬ  
 はならないのだ

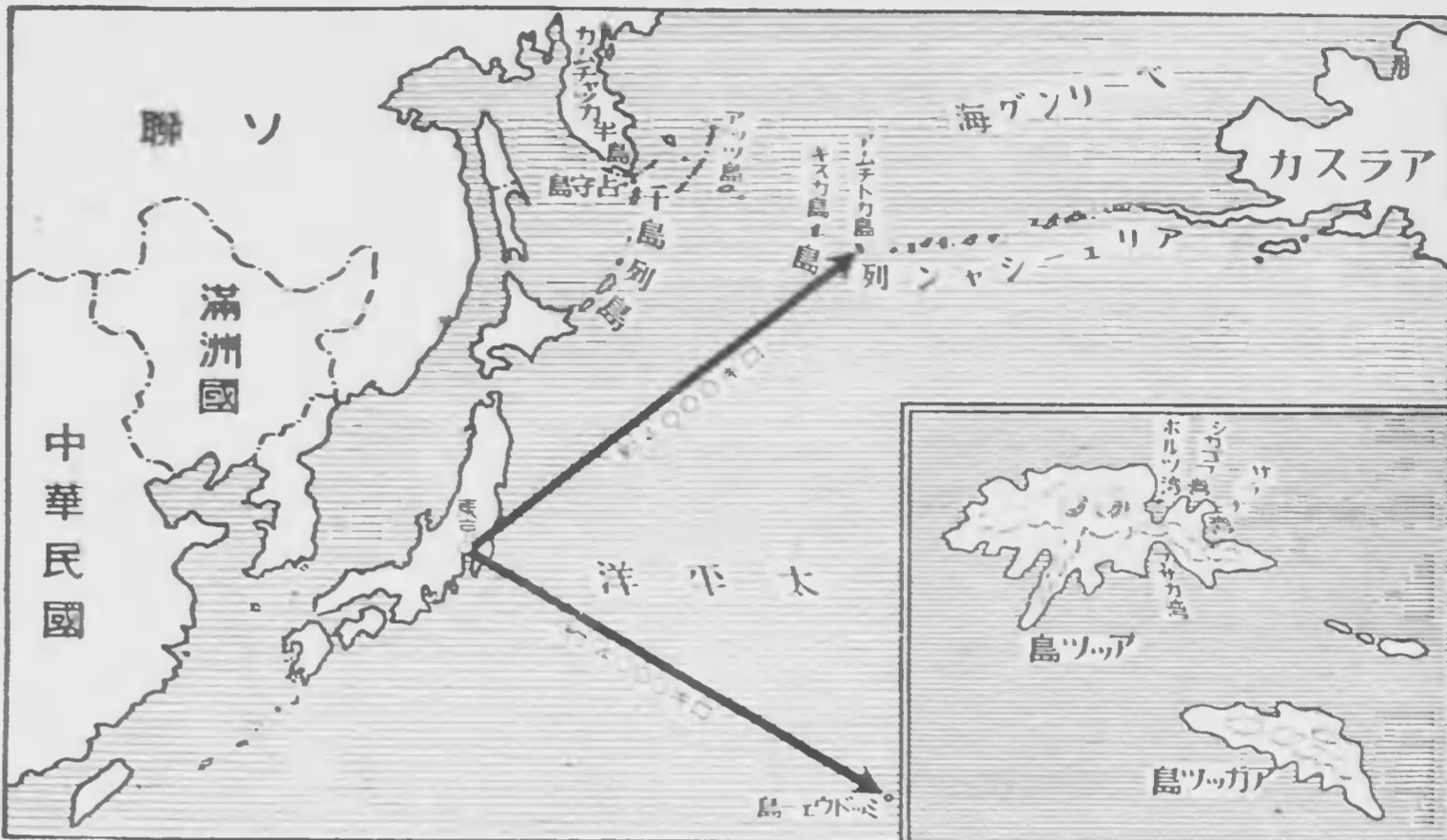


労働者は、自業した、労働者の安全を  
 切な先登工員が責任を持って歩く

近頃は、必勝生産の道である



# 決戦の秋へ 世界戦局の緊急迫す



敵艦に襲撃 第一線戦場

開戦以来、敗北に敗北を重ねた敵が、總反攻の年とした今年も、間もなくその前半期を終らうとしてゐる。われわれもまた決戦の年としてこれに備へ、あらゆる努力を戦争

暗はれど、じつはか、祭えるか、決して安んじない戦争。われわれは常に世界戦局の推移を監視し、決戦に處する覚悟を一層固くしなければならぬ。

**チュニジア作戦終結す**

まづ歐洲を大観しよう。全世界の注目を集めてきた北阿戦局に關して、ヒトラー總統は去る五月十三日、

「獨逸軍アフリカ部隊の英雄的戦闘は、こゝに光榮ある最後を告げた。チュニス市街において最後の抵抗を繼續してゐる敵軍は、過去數日間に行り、水も食糧もなく、しかも倦戦をつげたが、ついに降参して戦闘を停止するのやむなきに至つた。チュニジア戦線における獨逸軍の優秀なことは、敵軍もしばしば認めるところであるが、獨逸軍は敵軍の攻撃に屈したのではなく、結局、補給の缺乏から敗北した。」

「歐洲第二戦線は近づいた。米英軍は歐洲大陸の四方八方から滿の如く上陸するであらう。」

「獨逸軍は去る五月十三日、チュニス市街において最後の抵抗を繼續してゐる敵軍は、過去數日間に行り、水も食糧もなく、しかも倦戦をつげたが、ついに降参して戦闘を停止するのやむなきに至つた。チュニジア戦線における獨逸軍の優秀なことは、敵軍もしばしば認めるところであるが、獨逸軍は敵軍の攻撃に屈したのではなく、結局、補給の缺乏から敗北した。」

「獨逸軍は去る五月十三日、チュニス市街において最後の抵抗を繼續してゐる敵軍は、過去數日間に行り、水も食糧もなく、しかも倦戦をつげたが、ついに降参して戦闘を停止するのやむなきに至つた。チュニジア戦線における獨逸軍の優秀なことは、敵軍もしばしば認めるところであるが、獨逸軍は敵軍の攻撃に屈したのではなく、結局、補給の缺乏から敗北した。」

獨逸軍司令部の発表によると、戦死五万七千七百七十七名、捕虜七千七百七十七名、戦車二百七十七輛、戦車破壊七千七百七十七輛といふ大きな数字に上つてゐる。さらに獨逸司令部當局は

「アフリカ戦線の全作戦を通じて、獨逸軍が最も困難を感じたのは補給の問題であつたが、獨逸軍はしばしば敵から莫大な軍需品を頂戴し、いはゆる糧を敵に得ることが出来た。アフリカ戦線における二年半の戦闘において、獨逸軍が使用した貨物自動車八輛、武器彈藥の四割、輕裝甲車の五割、燃料の三割は悉く英軍からの貢物品である。」

と聲明してゐるが、米英兩國が決定的勝利と世界に宣傳してゐるいはゆる輝々たる戦果の陰にひそむものは、實にかゝる笑止の沙汰だつたのである。

さらに佛領北阿に上陸した米英軍のために、反獨逸軍が補充しようとした多數の兵員と、多量の物資が、これを運んだ船舶もろとも、獨逸の飛行機や潜水艦によつて海底深く葬り去られてゐる。これらを考へ合せると、反獨逸軍が北阿であげた成果が決定的なものかどうか、自づと判明するのであるが、獨逸はまた北阿における獨逸軍將兵の決死の奮戦によつて十分時を稼ぐことが出来た。

「獨逸軍は去る五月十三日、チュニス市街において最後の抵抗を繼續してゐる敵軍は、過去數日間に行り、水も食糧もなく、しかも倦戦をつげたが、ついに降参して戦闘を停止するのやむなきに至つた。チュニジア戦線における獨逸軍の優秀なことは、敵軍もしばしば認めるところであるが、獨逸軍は敵軍の攻撃に屈したのではなく、結局、補給の缺乏から敗北した。」

「獨逸軍は去る五月十三日、チュニス市街において最後の抵抗を繼續してゐる敵軍は、過去數日間に行り、水も食糧もなく、しかも倦戦をつげたが、ついに降参して戦闘を停止するのやむなきに至つた。チュニジア戦線における獨逸軍の優秀なことは、敵軍もしばしば認めるところであるが、獨逸軍は敵軍の攻撃に屈したのではなく、結局、補給の缺乏から敗北した。」

「獨逸軍は去る五月十三日、チュニス市街において最後の抵抗を繼續してゐる敵軍は、過去數日間に行り、水も食糧もなく、しかも倦戦をつげたが、ついに降参して戦闘を停止するのやむなきに至つた。チュニジア戦線における獨逸軍の優秀なことは、敵軍もしばしば認めるところであるが、獨逸軍は敵軍の攻撃に屈したのではなく、結局、補給の缺乏から敗北した。」

北阿戦が展開されてゐる間に、獨逸側は互に緊密な連絡をとりつゝ、歐洲の要塞化を急ぎ、北方から西方イペリア半島に達する海岸は勿論、フランス、イタリアの海岸からコルシカ、サルジニア、シシリー、クレタ島などの地中海島嶼に對しても防備を固め、来るべき敵の第二戦線、歐洲本上陸の野望に備へて来たのである。

敵艦が何んと宣傳しようと、獨逸側の

「獨逸軍は去る五月十三日、チュニス市街において最後の抵抗を繼續してゐる敵軍は、過去數日間に行り、水も食糧もなく、しかも倦戦をつげたが、ついに降参して戦闘を停止するのやむなきに至つた。チュニジア戦線における獨逸軍の優秀なことは、敵軍もしばしば認めるところであるが、獨逸軍は敵軍の攻撃に屈したのではなく、結局、補給の缺乏から敗北した。」

「獨逸軍は去る五月十三日、チュニス市街において最後の抵抗を繼續してゐる敵軍は、過去數日間に行り、水も食糧もなく、しかも倦戦をつげたが、ついに降参して戦闘を停止するのやむなきに至つた。チュニジア戦線における獨逸軍の優秀なことは、敵軍もしばしば認めるところであるが、獨逸軍は敵軍の攻撃に屈したのではなく、結局、補給の缺乏から敗北した。」

「獨逸軍は去る五月十三日、チュニス市街において最後の抵抗を繼續してゐる敵軍は、過去數日間に行り、水も食糧もなく、しかも倦戦をつげたが、ついに降参して戦闘を停止するのやむなきに至つた。チュニジア戦線における獨逸軍の優秀なことは、敵軍もしばしば認めるところであるが、獨逸軍は敵軍の攻撃に屈したのではなく、結局、補給の缺乏から敗北した。」

北阿撤退と米英の宣傳謀略

それにも拘はらず、歐洲が北阿戦局の轉回によつて今にも崩れるかのやうに思は

「獨逸軍は去る五月十三日、チュニス市街において最後の抵抗を繼續してゐる敵軍は、過去數日間に行り、水も食糧もなく、しかも倦戦をつげたが、ついに降参して戦闘を停止するのやむなきに至つた。チュニジア戦線における獨逸軍の優秀なことは、敵軍もしばしば認めるところであるが、獨逸軍は敵軍の攻撃に屈したのではなく、結局、補給の缺乏から敗北した。」

「獨逸軍は去る五月十三日、チュニス市街において最後の抵抗を繼續してゐる敵軍は、過去數日間に行り、水も食糧もなく、しかも倦戦をつげたが、ついに降参して戦闘を停止するのやむなきに至つた。チュニジア戦線における獨逸軍の優秀なことは、敵軍もしばしば認めるところであるが、獨逸軍は敵軍の攻撃に屈したのではなく、結局、補給の缺乏から敗北した。」

「獨逸軍は去る五月十三日、チュニス市街において最後の抵抗を繼續してゐる敵軍は、過去數日間に行り、水も食糧もなく、しかも倦戦をつげたが、ついに降参して戦闘を停止するのやむなきに至つた。チュニジア戦線における獨逸軍の優秀なことは、敵軍もしばしば認めるところであるが、獨逸軍は敵軍の攻撃に屈したのではなく、結局、補給の缺乏から敗北した。」

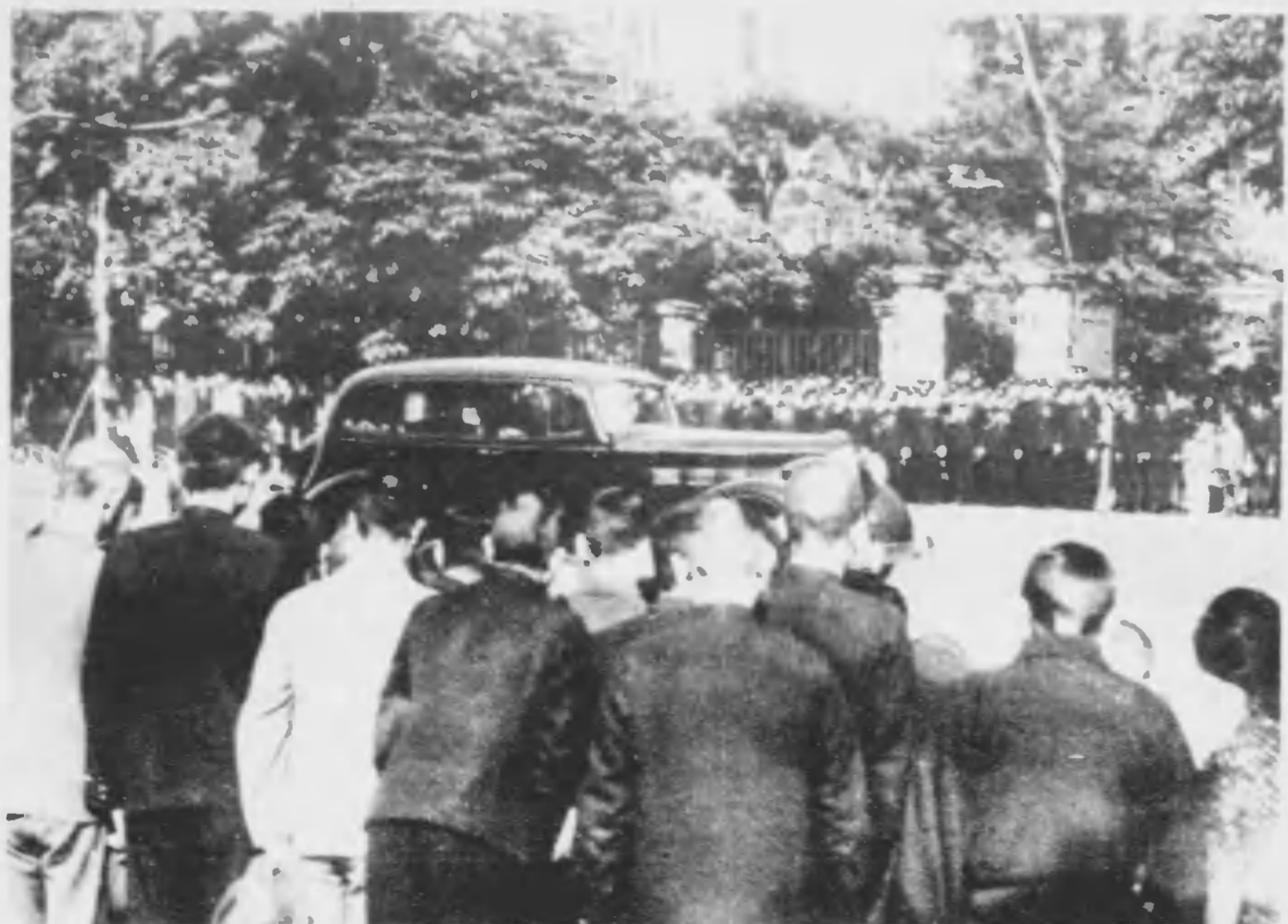












# 一億 山本元帥の 後につぐかん

山本聯合艦隊司令長官は、去る四月前線において、全般作戦を指導中、敵と交戦、飛行機上で壮烈な戦死を遂げた。畏くも、天皇陛下におかせられては、大將多年の偉功を蓋せられ、大勳位功一級に叙せられ、元帥府に列せられ、特に元帥の稱號を賜

正三位に叙せられ、故元帥海軍大將山本五十六に特に國葬を賜ふ旨仰出された。誠に武人として至高、至大の榮譽であると同時に、大御心のほど恐懼感激に堪へないところである。われらは五月十一日大本營から發表された山本元帥戦死の報に接し、徳を止し、悲歎としてその崇高壯烈なる大精神に觸れて、眼



## しり在帥元 姿英の日

雄渾無比の大作戦を繰る山本元帥

## 常々英姿



艦上に敵を睥睨する元帥の英姿

言行一致の元帥は、常在戦場といふ句をよく書かれた。ロンドン會議に使した當時、宿舎における元帥

りなき痛惜の情を感ず得なかつた。しかし、既に古賀第一大將が元帥の後任として聯合艦隊の指揮を執り、帝國海軍はいさゝかのゆるきもなく、新司令長官を中心に全將兵の士氣はいよ／＼昂まり、一致結束、烈々たる必勝の信念に燃えて、米英撃滅の一途に邁進しつつあることは心強い限りである。元帥は今次戦争の勇頭、ハワイ、マレー沖、南洋の全域に亘つた雄渾無比なる大海上作戦の指導に當り、帝國の必勝不敗態勢の基礎を確立した殊勳者であつて、海戦史上に不滅の武功を樹てたばかりでなく、古史に永くその英名は輝くことであらう。また元帥の勳功は、この度の戦争において初めて現はれたものでなく、或る時は海軍軍縮會議に使して帝國の主張を貫くために異常なる辛苦を重ね、或る時は海軍航空本部長として、無敵の帝國海軍航空部隊の基を築き、また海軍次官として、多難なる國際情勢下に、軍政の要職に身を捧げたのであつた。

敵撃滅の憤激と痛惜の念新たに繰り出す。發喪三日目の五月二十三日、故山本五十六元帥の英靈は帝都に無言の凱旋をした。全世界を驚倒させた「古不滅の武功に輝き、死してもなほ米英撃滅すは止まざる鬼神と化した英魂を迎へて、全國民一億、ひとしく悲憤の涙とともに「われら戦場は山本精神を活かさん」と誓つた。父元帥の英靈に傾つく英主義正君（水友社にて）上。母旗低く垂れた海軍省前に肅然とお迎へする海軍省職員の前を元帥の英靈を乗せた車は水友社へ向ふ下





↑ 僕はこの腕には山本陣が籠つてゐる。さあ、職場で討死するぞ  
『増産を以て復讐せん』告示に産業戦士の決意は固い



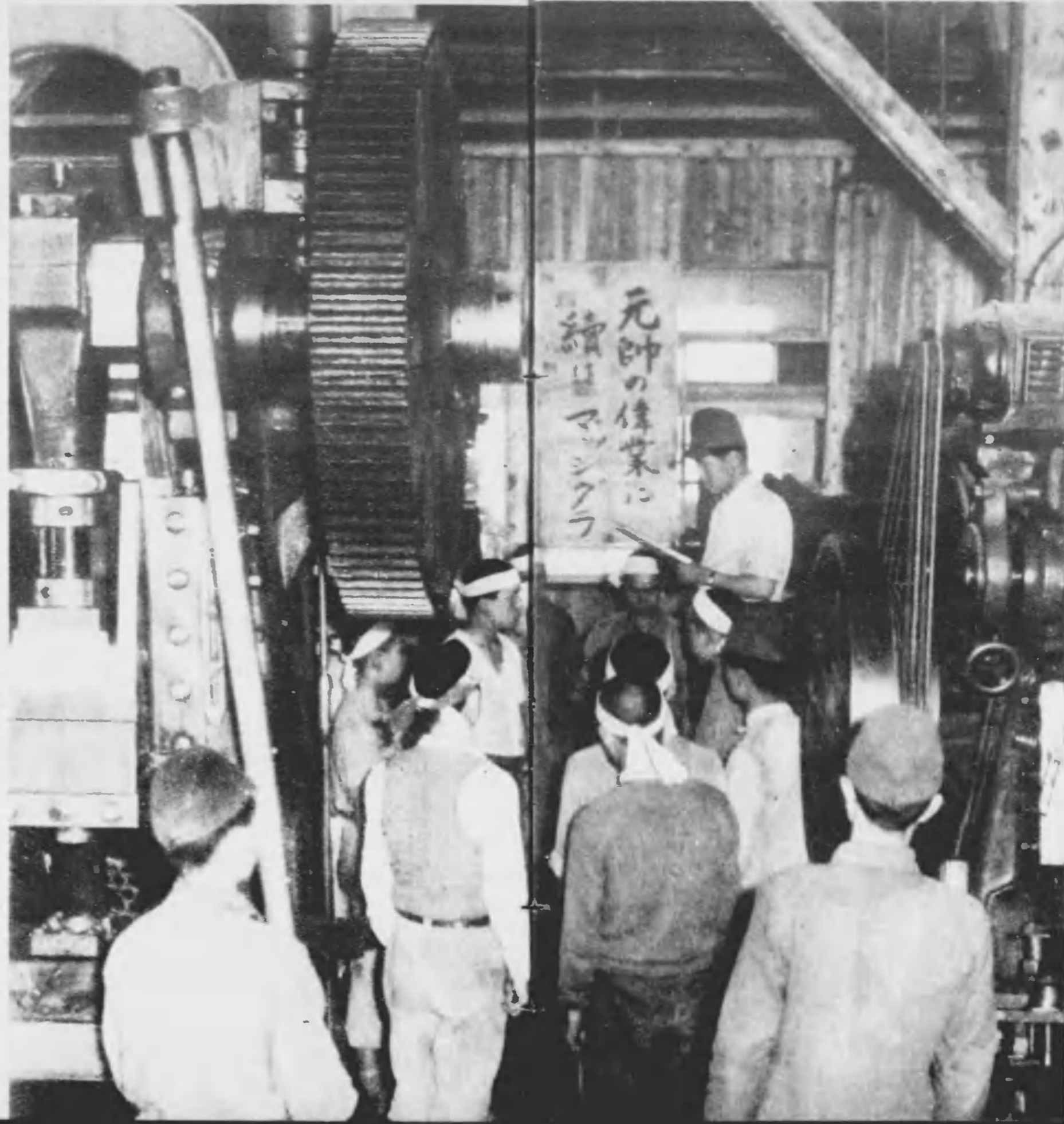
# 闘志に燃え 去る生産工場

『我等は生産決死隊、海軍よ、我等の造る武器で仇を討つてくれ』



『元帥に続け』運動は火を吐いて討議された。決議は、増産へマッシュグラ

# 元帥の仇は キツト討つぞ



↑ 『元帥の仇はキツト討つぞ』 技師の職場を守る少女工員も必死の増産だ  
英艦返る。二十三日午後二時四十三分、悲痛な悲しみに黙輪を捧げつゝ、『元帥の仇を討つ』決意に燃え立つた  
『山本聯合艦隊司令長官戦死』  
大本営発表の放送に、東京足立区の平田製作所では當夜直ちに緊急全機座談会が開かれた。意外の悲報に全工員は唇を噛んでうなされた。が、やがて誰の胸にも次第に燃え立つてくるものがあつた。『誰か、仇を仕したのだ』心の底からこみ上げてくる憤りであつた。誰いふもなく、『元帥の仇を討て』となつて爆発した  
『元帥に続け』運動の上程となり、山本陣を職場に生かせる研究討議が夜遅くまで続いた  
『沈黙の凱旋』を帝都に迎へた







内閣軍興の正途は生更



マルビの侵入軍演演



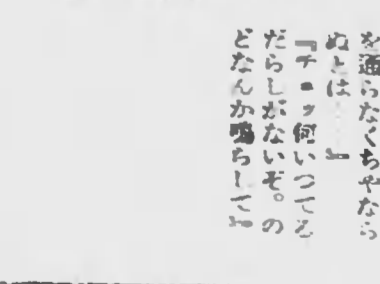
英米の悪鬼習育に敵抗



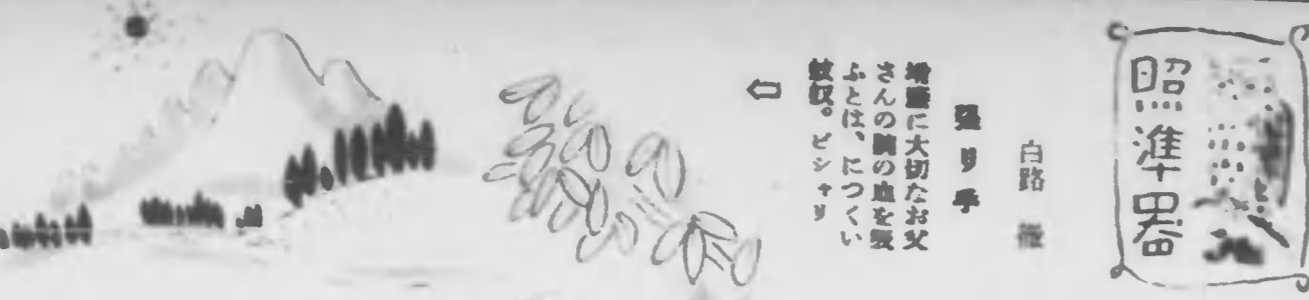
中立の米米の手に



雨平洋の敵地運送



選級親父はね



**照準器**  
白路 謹

強り手  
増幅に大切なお父さんの胸の血を吸ふとは、につくいな、敵のピシヤッ



きめ倒し  
「この菜はだき何科に属しー菜葉は何パーセントかた。しかしてその栽培法はとー」  
「あなた理屈いふ間に軍でもおしつてチャウダイ」



**決戦四十八手の内**

浴せ倒し  
エッ？ 敵我前まで冗談でせう。お見かけしたところ、お年も體も兵隊さんにハリノ、つてところぢやありませんか、歩いて行きたさい、歩いて



頭捨り  
「あなた！ こんどは二百七十位貯蓄なのよ。今まで通りぢや心細いわ。頭強り通して頂戴」  
「なるほど考へたな」



選級親父はね



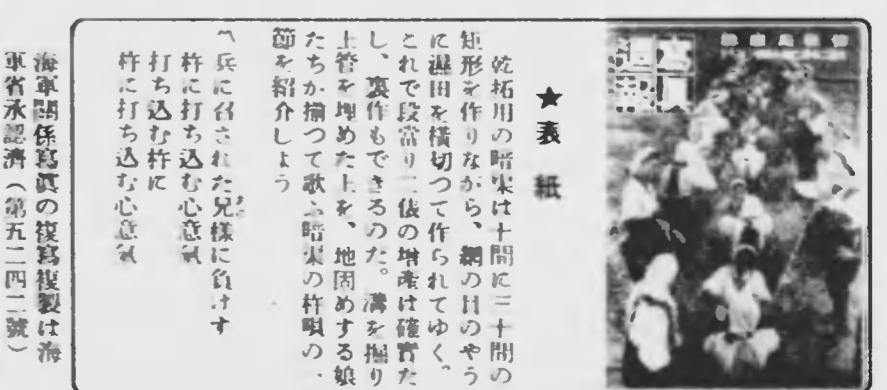
植木 徹  
職友 お前の傷を少しでも代つてやらうと思つてね

選級親父はね



**信**

働く銃後は女手  
前線の夫や兄に負けじとばかり、京都市農会主催の「半耕技芸」に出場した女子選手中、最年少の十七歳の乙女が賞々入賞して、男子選手二十六名を凌ぐといはれた。誠に頼もしい決戦ト女性の手である。汗みどろの女子選手に頼もしい銃後があるではないか(上)  
男まさりの女子選手の数限りなく増え、男で見る者も羨望の目を注ぎ、運動として注目される。



★表紙  
佐祐用の暗黒は十間に二十間の形を作りながら、網の目のやうに湿地を横切つて作られてゆく。これで段取り二儀の増産は確實とし、裏作もできるのだ。溝を掘り土管を埋めた上を、地固めする娘たちか揃つて歌ふ暗黒の竹垣の、節を紹介しよう  
兵に召された兄様に負けず、竹に打ち込む心意、打ち込む竹に、竹に打ち込む心意



# 彈丸切手

第十三回  
六月一日〜十五日

抽籤 六月二十一日  
割増金 一等千圓以下多數  
當籤率 十一枚三付一枚ノ割合

抽籤の済んだ切手は五枚以上まとめて郵便局へお差出しの上、特別据置貯金證書と引換へて下さい。



懸賞募集

郵便貯金と

我が家の生活設計



二百七十億貯蓄を完遂するには、國民の一人一人が決戦段階に即應した生活設計を工夫して、現在より以上の貯蓄をどこから生み出すか、各種の郵便貯金制度をどう活用して行くかを再検討して、一段と堅實に貯蓄を實踐しなければならぬ。その意味で実行性のあるものを御投稿下さい。

制限 字数には制限なきも必ず半紙大原稿紙使用のこと  
審査 貯金局・大政翼賛會  
賞金 入選 五篇 百圓(國債一枚)宛  
佳作 五篇 五十圓(國債一枚)宛  
宛先 貯金局規畫課第一奨勵係  
締切 昭和十八年七月三十一日  
發表 昭和十八年九月一日新聞等にて發表の豫定  
その他 住所氏名を明記すること  
口書作品に對する一切の権利は貯金局に於て取得す

寫眞週報

(禁轉載)

昭和十八年六月二日印刷發行

情報局

東京市豊田町

印刷局

内閣印刷局

郵政省貯蓄課

定 價

一部十錢

(送料別)

外埠郵送は依

其の都度御達

金より送料を中

受け下さ

▲特大版の場合は

其の都度御達

金より送料を中

受け下さ

▲特大版の場合は

其の都度御達

金より送料を中

受け下さ

所 達 中	定 價
全國各地官報 販賣所	一部十錢
書店・驛書店 新聞販賣店 寫眞材料店	(送料別)

本誌を回覧に  
本誌は日下新報申込  
に際しかねてをりま  
すから、隔州や隔場  
で回覧する等、出  
來るだけ有効に御利  
用下さい。

前編期間にも  
またお読みになった  
ら本誌を前編期間に  
送りませう。送料は  
内地と同様で帯封あ  
る場合は別封にして第  
一部一錢です。

内閣印刷局印刷發行

寫眞週報 昭和十八年六月二日印刷發行 郵政省貯蓄課第一奨勵係 第五七七號